

2年生から始めよう！

総合職試験は早期学習スタートが圧倒的に有利

メリット

なぜ2年生から始めるのか

高得点を獲得し、上位合格を果たす

採用試験の合格順位は、その後の官庁訪問にも影響することは周知の事実。官僚としての基礎的能力が一定程度保証された受験生に対しては省庁側の獲得意欲が高いからです。ウェートの大きな筆記試験で高得点をするためにも、やはり早くからの学習の積み重ねが重要です。

<国家I種試験の配点比率> 2010年度試験

教養・専門試験が配点比率の9/13	教養択一	専門択一	専門記述	総合試験	人物試験
約70%を占める	2/13	3/13	4/13	2/13	2/13

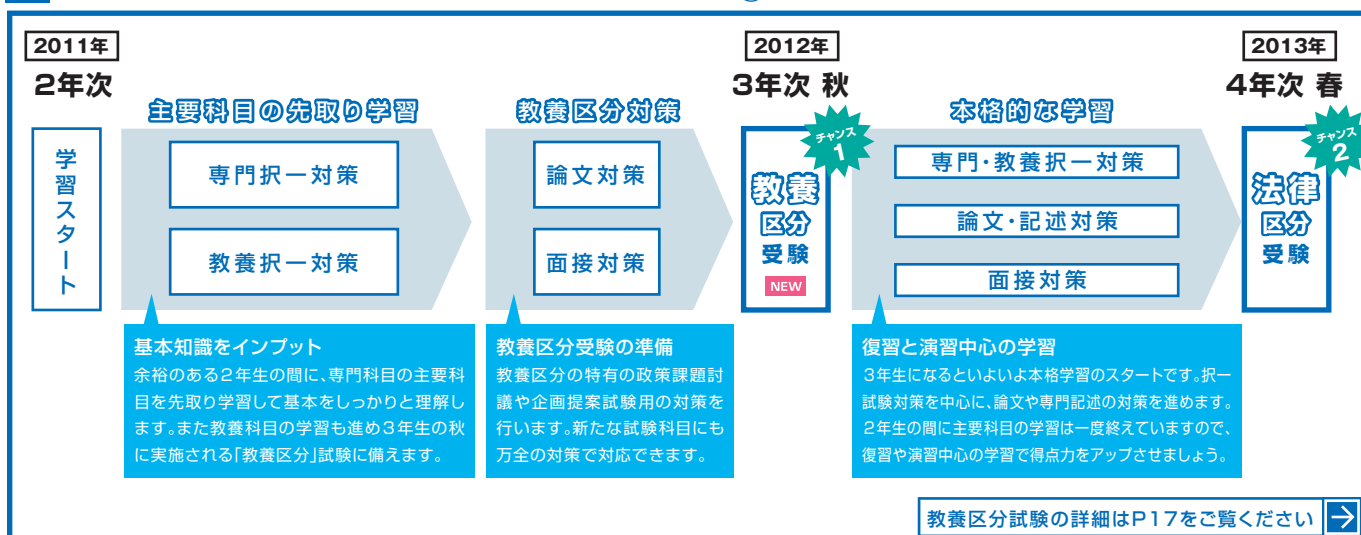
メリット

なぜ2年生から始めるのか

受験のチャンスが2回になる

2012年の総合職試験から基礎的な能力の検証を重視した「教養区分」が新設されました。教養区分試験は秋に実施され、20歳で受験が可能です。また専門試験は出題されません。2年生から対策を始めれば、この試験にも万全の態勢で臨むことが可能になり、受験のチャンスが2回に広がります。

2年生からの受験スケジュール（例）教養区分と法律区分の受験の場合



メリット

なぜ2年生から始めるのか

官庁訪問を勝ち抜くために、人間的魅力を醸成する

「学生時代をどう過ごし、何を得了のか」

官庁訪問で頻りに問われるテーマです。しかし面接官を納得させられる話ができる学生はそう多くありません。大学生活は省庁のリーダー候補に相応しい人物としての人間的魅力を磨く貴重な時間。ゆとりを持った受験計画で大学生活を盛り上げ、有意義な時間を過ごしてください。

2年生向けの専用コースを毎月開講！

詳細は次のページ

